

## ◆ 今週のコメント

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(女性, 50歳代)あります。症状は咳嗽・肺炎です。推定感染地域は国内で、推定感染経路は水系感染です。本年の累積報告数は7例となっています。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(男児及び女児, 共に10歳未満)あります。「感染症法」において、平成25年4月1日から五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降、累積報告数は10例となっています。
- ・ 手足口病の定点当たり報告数は、0.88(36例)で、前週 1.44(59例)より減少したものの、第30週(7月22日～7月28日)以降、16週連続で過去5年平均値を上回っています。本年、京都市衛生環境研究所で分離・検出した手足口病由来のウイルスは、コクサッキーウイルスA6(CA6)14例、エンテロウイルス71(EV71)2例となっています。(11月14日現在)

## ◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.90(37例)で、前週 1.10(45例)より減少しているものの、第34週(8月19日～8月25日)以降、12週連続で過去5年平均値を上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 1例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 326例(肺結核 174例, その他結核 79例, 潜在性結核感染者 73例)うち喀痰塗抹陽性 102例】
- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例(第44週追加分)【1月以降の累積報告数 13例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数10例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.07	5
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.44	100
	② RSウイルス感染症	0.90	37
	③ 手足口病	0.88	36
	④ 水痘	0.66	27
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	24
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

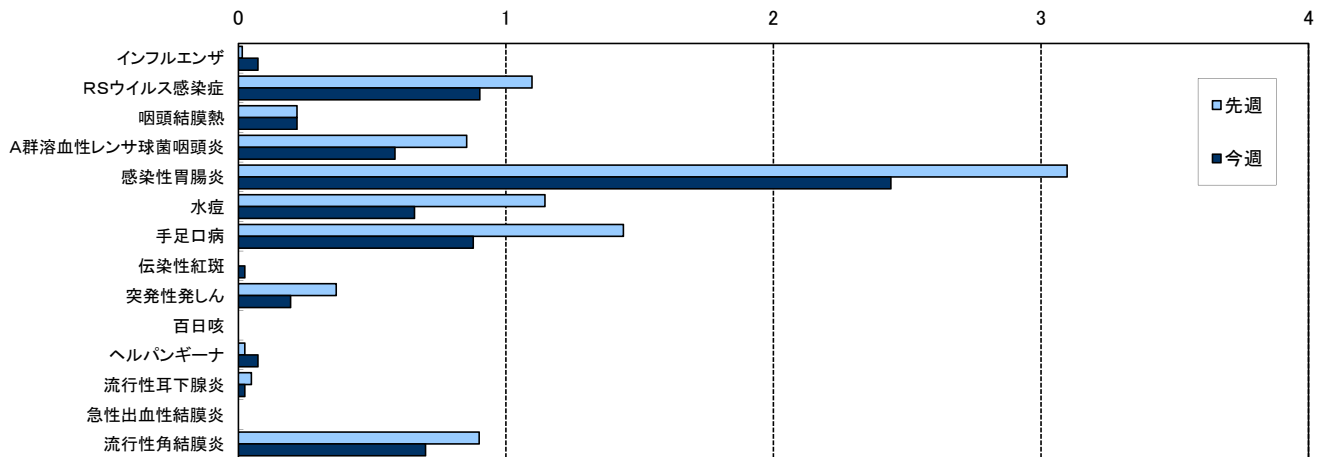
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

(注) 京都市のデータは、平成25年11月14日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# ◆ 発生状況の概況グラフ

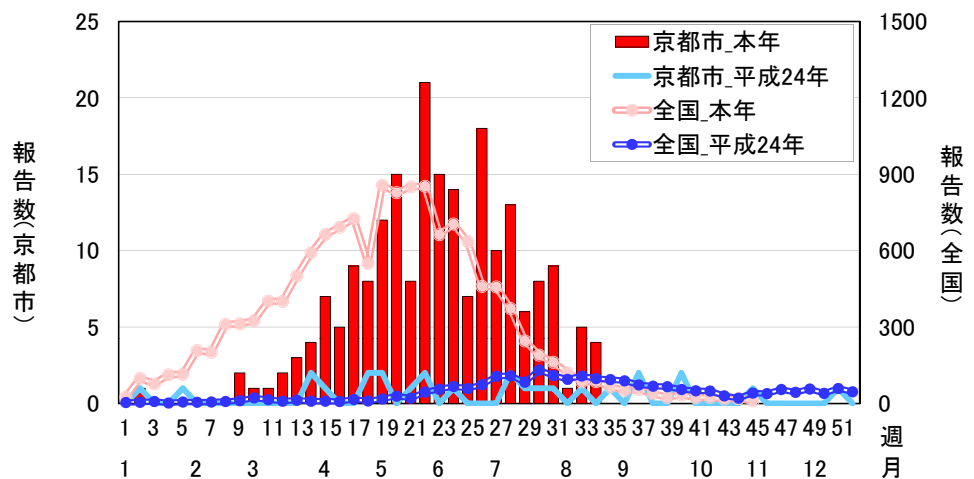
## 1 今週(第45週)と先週(第44週)の定点当たり報告数の比較



## 2 風しんの推移

今週の報告数(累積報告数)  
平成25年11月14日現在

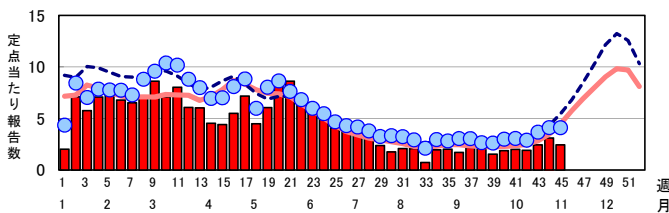
京都市	0例 (209例)
京都府(京都市を除く)	0例 (113例)
近畿6府県	4例 (5230例)
全国	10例 (14251例)



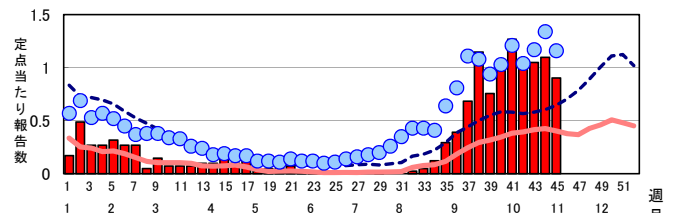
## 3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

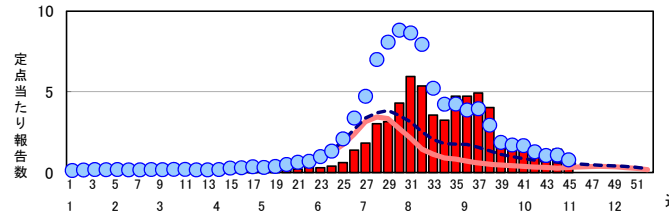
1 感染性胃腸炎



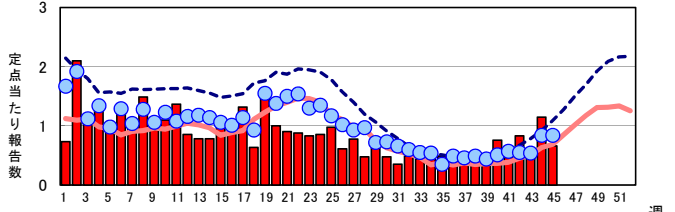
2 RSウイルス感染症



3 手足口病

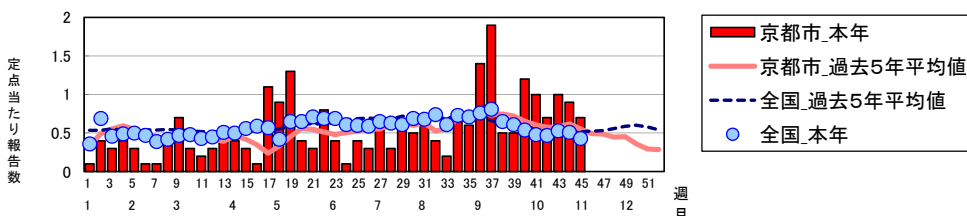


4 水痘



<眼科定点>

流行性角結膜炎



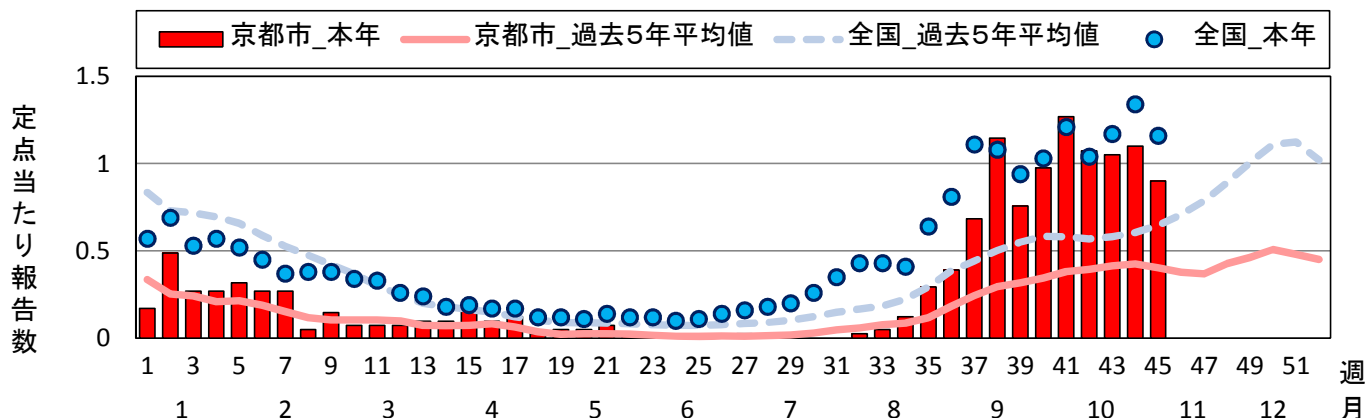
## 第45週(11月4日～11月10日)トピックス: <RSウイルス感染症>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.90(37例)で、前週 1.10(45例)より減少しているものの、第34週(8月19日～8月25日)以降、12週連続で過去5年平均値を上回っています。

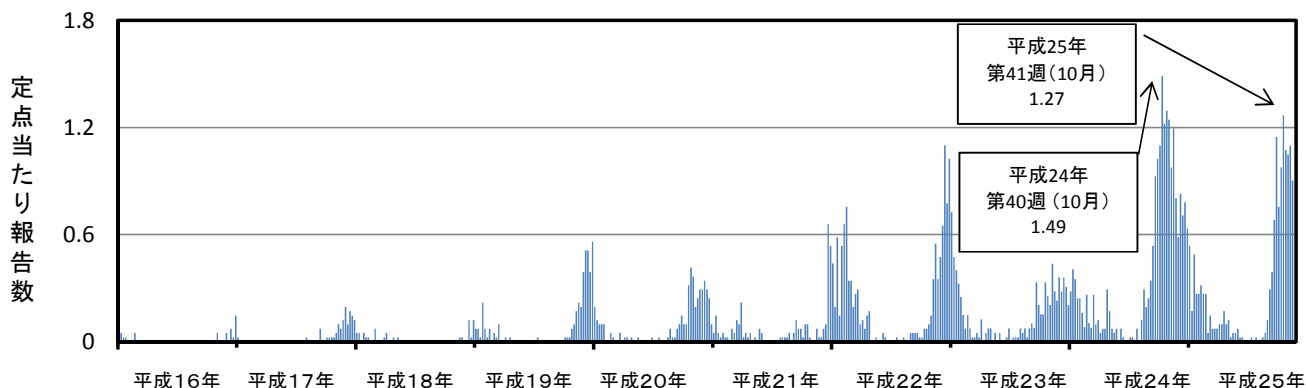
「感染症法」において定点把握対象に指定された平成16年以降の定点当たり報告数では、平成23年以降、夏頃から報告数の増加がみられるようになり、最も多かった平成24年のピークは第40週(10月1日～10月7日)でした。本年においても、第32週(8月5日～8月11日)から増加しており、第41週(10月7日～10月13日)の1.27をピークに減少傾向にあります。平成22年まで冬期に報告数のピークがみられていましたので、今後の動向にも注意が必要です。

年齢階級別では、2歳が10例(27.0%)と最も多く、次いで0～5箇月、6～11箇月及び1歳 各6例(16.2%)となっています。

京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



本市の平成16年以降の定点当たり報告数の推移



行政区別定点当たり報告数の推移

